

社会福祉学科			社会福祉 専攻						
科目名: 社会福祉援助技術論 V			担当教員 氏名: 清水 剛志						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	2年次	前期	専門科目	講義	選択	社会福祉士国家試験基礎受験資格(必修)			
実務経験を用いてどのよ うな授業を行っているか:			子ども、高齢者、障害者等に対する相談支援を行ってきた経験をもとに、対象者とその取り巻く環境に対す る支援のあり方を検討する演習を行う。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
・事例検討をとおして、ソーシャルワークスキルを向上させる。					ソーシャルワークスキル 権利擁護 ネットワーキング ストレングス 機能的アプローチ				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 8. 9. 10				
A 知識・理解力			ソーシャルワーク技術について知識を深めることができる						
B 専門的技術			実践現場で活かせる援助技術を身につける						
C 論理的思考力			対象を多角的にとらえ、リアルニーズの把握と社会資源に結びつける						
D 問題解決力			事例検討をとおしてソーシャルワークの実践力を身につける						
G 倫理観			相談援助職の専門的役割や使命とともに倫理綱領を理解し実践活動ができる						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	40 %	発表:	30 %	実技試験:	%	その他:	30 %
特記事項:その他は、授業出席、態度を評価する。(事例検討後の感想や気づき等のレポート提出も含む。)									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:第8回授業後に中間テスト(レポート形式)、第15回後に期末テスト(レポート形式)									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:講義内での講評									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な 時間(分)				
①オリエンテーション ソーシャルワークの機能について									
②事例検討:ケアマネジメントの活用 スクールソーシャルワーク				【復習】事例に関する感想や気 付き等をまとめ	【復習】30分				
③事例検討:ケアマネジメントの活用 スクールソーシャルワーク				【復習】事例に関する感想や気 付き等をまとめ	【復習】30分				
④事例検討:ネットワーキングの活用 触法障害者への支援				【復習】事例に関する感想や気 付き等をまとめ	【復習】30分				
⑤事例検討:ネットワーキングの活用 触法障害者への支援				【復習】事例に関する感想や気 付き等をまとめ	【復習】30分				
⑥事例検討:社会資源の利用・開発・調整の活用 高齢者の孤独死防止への支援				【復習】事例に関する感想や気 付き等をまとめ	【復習】30分				
⑦事例検討:社会資源の利用・開発・調整の活用 高齢者の孤独死防止への支援				【復習】事例に関する感想や気 付き等をまとめ	【復習】30分				
⑧中間振り返り 事例検討									
⑨事例検討:システム論的アプローチの活用 リストラにあった中高年と家族への支援				【復習】事例に関する感想や気 付き等をまとめ	【復習】30分				
⑩事例検討:システム論的アプローチの活用 リストラにあった中高年と家族への支援				【復習】事例に関する感想や気 付き等をまとめ	【復習】30分				
⑪事例検討:ストレングスアプローチの活用 知的障害者への就労支援				【復習】事例に関する感想や気 付き等をまとめ	【復習】30分				
⑫事例検討:ストレングスアプローチの活用 知的障害者への就労支援				【復習】事例に関する感想や気 付き等をまとめ	【復習】30分				
⑬事例検討:機能的アプローチの活用 身体障害者への生活支援				【復習】事例に関する感想や気 付き等をまとめ	【復習】30分				
⑭事例検討:機能的アプローチの活用 身体障害者への生活支援				【復習】事例に関する感想や気 付き等をまとめ	【復習】30分				
⑮まとめ 事例検討									
使用テキスト: 相談援助の理論と方法Ⅱ 中央法規				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									